

本年度の結果

	算数A	算数B
阿蘇市	80	43
全国	78.6	45.9

算数A	数と計算	量と測定	図形	数量関係
阿蘇市	82.2	68.4	85.0	79.9
全国	80.6	68.8	81.1	79.6

算数B	数学的思考方	数量や図形の知識・理解
阿蘇市	41.7	47.6
全国	45.4	48.6

本年度の主な結果について

- 整数・小数の乗法、小数と整数の加法の計算、最小公倍数、二次元表の分類整理、正多角形の性質についての理解は定着している。
- 基準量、比較量、割合の関係の理解、基礎的・基本的な知識・技能を活用して根拠となる事柄を言葉や数、式などを用いて表現したり説明したりすること等、活用する力や数学的な考え方に課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 問題場면을的確に捉え、数量の関係を図や数直線などに表すことができる(A1(2))
- 少数と整数の加法の計算ができる(A2(2))
- 正多角形の性質を理解している(A6)
- 立方体の面と面の位置関係を理解している(A7)

【課題】

数と計算

- 加法と乗法の混同した整数と小数の計算(A2(3))
- 2つの数量の関係を捉え、そのきまりを言葉や式で記述すること(B1(3))
- 直線の数とその間の数の関係に着目して示された方法を問題場面に適用すること(B2(2))

量と測定

- 重さ、長さの任意単位による測定や普遍単位による測定の活用(A4)
- 示された数値を基準とした場合の平均の求め方を言葉や式を用いて記述すること(B3(2))

図形

- 「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ(B5(1))

数量関係

- 割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができること(B4(2))
- 与えられた情報から、基準量、比較量、割合を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだ理由を書くこと(B5(2))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思う。
- 言葉や数、式を使ってわけや求め方などを書くようにしている。

【課題】

- 算数の問題で、もっと簡単に解く方法がないか考える。
- 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。
- 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、解いてみたいと思う。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 数学的な見方、考え方を働かせて、数量や図形の間を数学的活動や生活場面と関連させながら理解させる。
- 言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的表現を用いて根拠をもって筋道立てて考える能力を育て、伝え合ったり説明したりする学び合いの充実を図る。
- 日常生活の問題の解決のために、必要な情報を選択したり示された方法を数学的に解釈し、問題場面に適用できるか考察し判断したりする指導の充実を図る。

【日常的な取組】

- 授業づくりの6つのポイントによる授業改善やICT機器の効果的な活用を行う。
- バブルチャートの結果を基に、少人数指導やTT指導等で基礎・基本の習熟、補充的・発展的な問題の指導の時間を日課表に位置づけて個に応じた指導や繰り返し指導を行う。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を与え、自学学習を進めるとともに、家庭と連携して定着を図る。